

■指導の重点

1 教育目標

教育基本法の精神に則り、国家及び社会の有為な形成者として、人間性豊かな技術者の育成を図る。この目標を達成するため以下の、校訓を定める。

- ア 至 誠 全ての生活において誠実を旨とし、勤労を尊ぶ態度を養う。
- イ 自 律 常に研究心をもち、豊かな創造力と自ら考え判断し行動できる力を養う。
- ウ 友 愛 人を尊敬する心を育て、寛容な精神をもって他と協調する豊かな人間性を育成する。

2 学校の教育目標を達成するための基本方針

本校は、工業技術者として広く産業社会を支える人材を育成することを目標に教育活動を展開している。その実現のために「実力のあるスペシャリストを育成する」ことを教育の根幹とする。専門性を生かした企業への就職、大学等への進学など、生徒の進路希望に応じ本校の教育活動を通して確かな学力、社会で役立つ資格の取得、技術力、社会性を身に付けた個性豊かな人材を育成する学校を目指す。

- ア 基礎学力の定着、授業時数の確保、授業内容の改善を図り、課外活動や家庭学習も充実させ、生徒の学習意欲の向上と自ら学習する態度を養う。
- イ キャリア教育の充実を図り、進路の動機付けや明確な目標をもたせ、生徒一人一人の能力を最大限に引き出し生徒の進路希望を実現する。
- ウ 全ての教育活動を通して、規範意識を醸成しながら他者との共生の心や思いやり、社会生活の基本的ルールを身に付けさせ、自らの権利と義務、自由と責任についての認識を養わせる。
- エ 学校行事の充実、部活動の加入率増加を目指し、強健な体力と不屈の精神、明朗活発な気風を養う。海外修学旅行を充実させ、国際理解教育を推進し、異文化理解とコミュニケーション能力の向上を図る。さらに、「学校2020レガシー」として、豊かな国際感覚等を身に付けさせる。また、環境教育を推進し、環境保全等についての意識向上を図る。
- オ 安全教育を推進し、自他の安全に留意できる能力・態度を養う。学校保健計画に基づいた健康教育を実践し、生徒自らが心身の健康管理ができるようにする。
- カ 本校の教育活動や取組、特色について適宜情報を発信するなど、広報活動を積極的に推進することにより、将来のものづくり人材を発掘し、募集人員の拡大を図る。
- キ 中高連携と交流事業、公開講座、施設開放などを通して地域に貢献する学校及び生徒による授業評価、学校運営連絡協議会の評価・意見から学校の取り組むべき課題を整理し、主幹教諭、主任教諭等のミドルリーダーを活用した組織的な学校経営を行う。
- ク 専門学科等での施設・設備の整備と充実を図るとともに、清新な学習環境を構築できるよう、校内の施設の環境整備を図る。また、施設・設備の老朽化に対応し、修繕・改善に不断に取り組む。
- ケ 「通級による指導」が必要と認められる生徒に対しては、学習上または生活上の困難の改善・克服を図り、将来の自立や社会参加を目指し、生徒の実態に応じた指導を行う。

3 各教科・科目の指導の重点

- ア 本校生徒の実態に即した学力スタンダードを各教科で作成するとともに、各教科が横断的に連携し、学力向上推進計画を実施する。
- イ 学力調査及び学力向上推進計画に基づき、基礎・基本を重視するとともに、オンライン学習を取り入れ、一人一人の進路希望に応じた学力向上に取り組む。

- ウ 予習・復習の重要性を理解させるため、各教科とも学習課題（レポート作成は除く）を課すことにより家庭学習の定着を図る。
- エ 数学、理科、英語等において、放課後、長期休業中を活用した個別指導や補講等により、基礎学力だけではなく大学進学が可能な学力を身に付けさせる。
- オ アクティブ・ラーニングを取り入れた授業やICT機器を積極的に活用した授業を研究し、学習意欲を高める授業改善に取り組む。
- カ 様々な教科を通して、言語活動の充実を図り、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力の向上を図る。
- キ 読書活動を通して、読書力、想像力、思考力の向上を図るため、各教科で図書館利用を促進する。
- ク 自ら考え、判断し、行動できる高い資質をもった主権者の育成に向け、学校として主権者教育を推進する。
- ケ 教科「人間と社会」を通して、道德教育を推進し、奉仕や障害者理解・防災活動等に関する基礎的・基本的な知識を身に付ける。
- コ 難関資格の取得指導を通して、より高度な専門知識及び技術・技能を身に付け、実力ある技術者を育成する。
- サ 「ものづくり人材育成プログラム特定分野推進校」として、ものづくり企業技能者等による実技指導等を実施し、技術・技能の向上を図る。